



VOLVO CAR JAPAN

Press Release

2018年12月7日

ボルボ「XC40」、「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞 — 昨年のXC60に続き2年連続受賞 —

ボルボ・カー・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:木村隆之)のXC40が、第39回日本カー・オブ・ザ・イヤー(日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催)において、昨年「2017-2018 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞したXC60に続き、「2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。輸入車が「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を2年連続で受賞するのは同賞39年の歴史の中でも初めてとなります。



今回の受賞理由について、日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会は次のようにコメントしています。
「日本の道路環境にちょうどいい扱いやすいサイズで、カジュアルかつスポーティなスタイリングを実現。インテリアは上質な北欧デザインで収納スペースも充実していて機能性も高い。そして走行フィールはスポーティさと快適性をきわめて高いレベルで両立したもので、気持ちよくドライビングを楽しめる。さらに高度な安全装備を全車標準しているところも高く評価した。」

報道関係お問い合わせ先
ボルボ・カー・ジャパン 広報部
Email : vcjpr@volvocars.com TEL : 03-5404-8611(代表)

XC40は、新開発の小型車向け新世代プラットフォーム「CMA(コンパクト・モジュラー・アーキテクチャー)」を採用したボルボ初のコンパクトSUVです。新プラットフォームと高効率なパワートレインにより、高い走行性能を実現しています。カジュアルで個性的なエクステリアに高い実用性と洗練された北欧デザインを両立したインテリアを採用し、ライフスタイルやニーズに合わせた、テイストの異なる4つのグレードを展開しています。ボルボ初の「欧州カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞し、日本国内でも幅広い客層から支持を得て、今年3月の発売以来、受注台数は計画比2.7倍の4,000台を超える好調なセールスを記録しています。

ボルボ・カー・ジャパン代表取締役社長の木村隆之は今回の受賞について次のように述べています。
「2年連続の大混戦を制してXC40がカー・オブ・ザ・イヤーを受賞することが出来ました。昨年のXC60の受賞は、XC60のみならず2016年導入のXC90から始まる新生ボルボに対する受賞と受け止め、ボルボブランドの完全復活宣言をしました。安全に加えて、デザインと質感、走りにおいて北欧プレミアムを確立したと考えています。今年のXC40はさらにボルボのプレミアムを進化させたと思います。プレミアムブランドらしく、ヒエラルキーではなくライフスタイルに合わせてクルマやグレードが選べます。2年連続の輸入車・ボルボが受賞ということで、様々なご意見があるかもしれませんが、10年後に受賞車として振り返ってみてもXC40の新しいコンセプトやデザインは受賞にふさわしい車だったと皆様に言っていただけると確信しております。」

XC40公式サイト

<https://www.volvocars.com/jp/cars/new-models/xc40>

日本カー・オブ・ザ・イヤー公式サイト

<http://www.jcoty.org/>

報道関係お問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報部

Email : vcjpr@volvocars.com TEL : 03-5404-8611(代表)
